

ISI・チャネルエミュレーション機能を パルスパターン発生器に内蔵

シグナルクオリティ アナライザ-R MP1900A

PAM4 PPG MU196020A



クラウドコンピューティングサービスの普及により、ネットワークサーバやデジタル機器では大容量データを高速に処理するため、400 GbE や PCI Express Gen5 などの高速通信規格が検討されています。信号の高速化に伴い、これら機器同士の接続や内部バスインタフェースは相互接続性がさらに重要となり、シグナルインテグリティを確保するため、高速デバイスには伝送路損失を補償するエンファシス機能が実装されるようになりました。

MP1900Aシリーズの高速インタフェース評価に適したパルスパターン発生器 (PPG) は、内蔵のエンファシス機能を使用して、さまざまな高速デバイス、PCボード、ケーブルなどの入出力チャネルロスを実際の信号を発生できます。

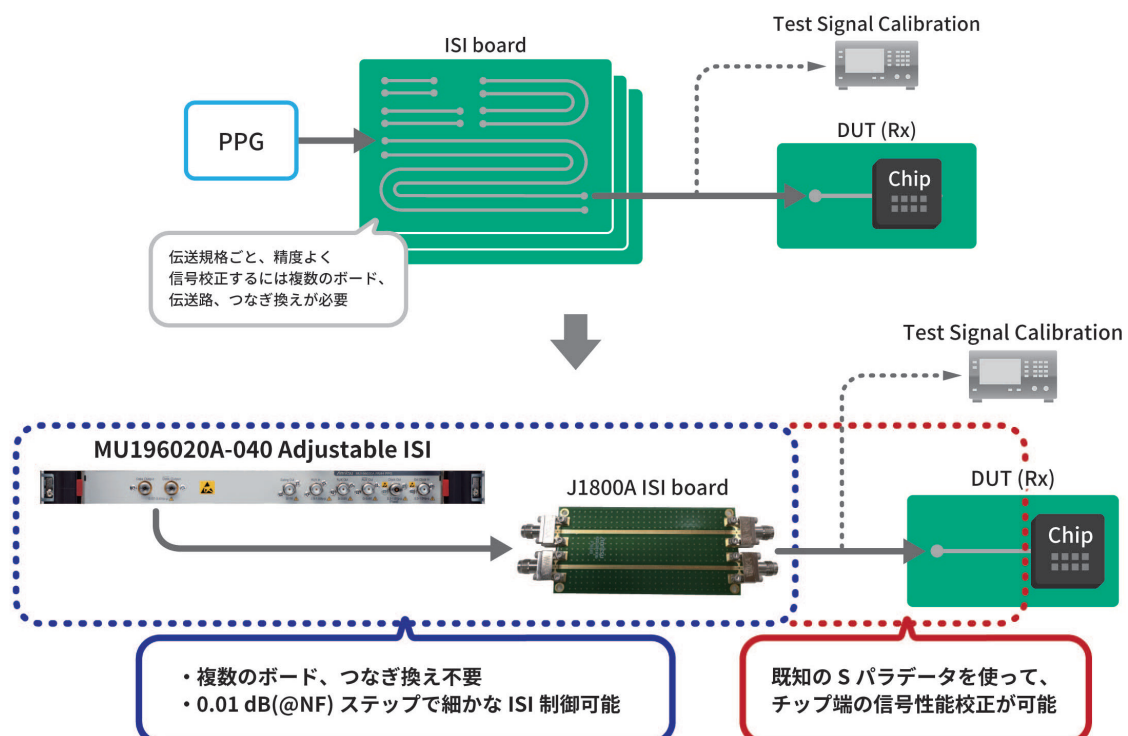
それにより、複数のチャネルボードを実際に試作せずとも、チャネル損失に依存する高速デバイスの性能検証をシンプルに再現性良く行うことができ、開発期間短縮に貢献します。

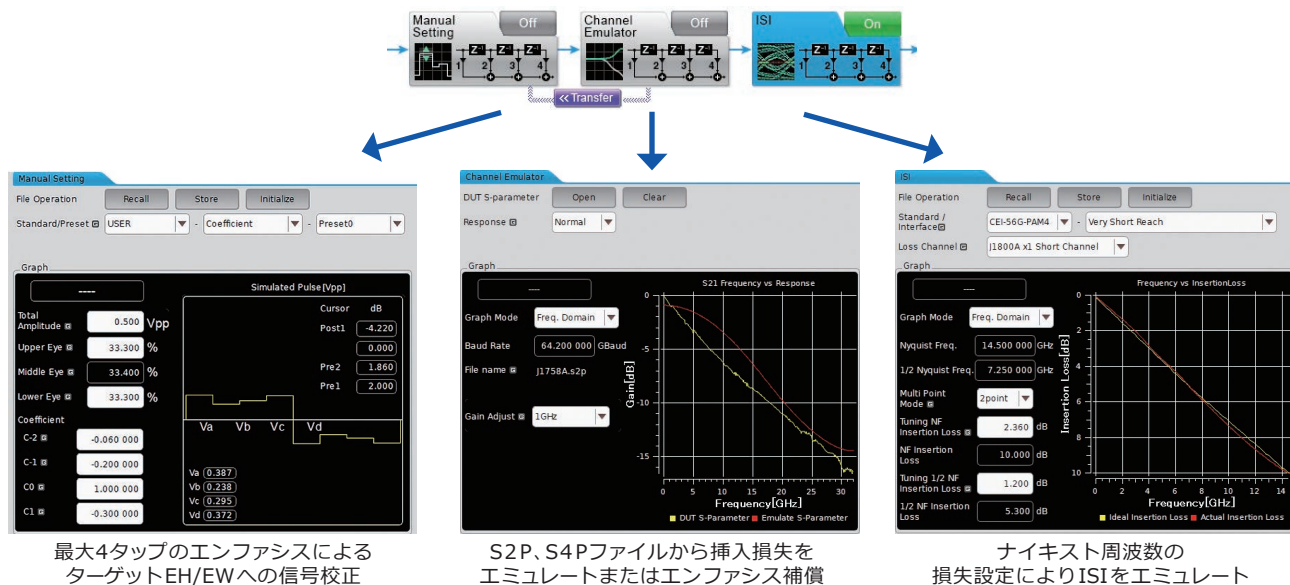
[対象アプリケーション]

100GbE/200GbE/400GbE、CEI-25G/28G/56G/112G、InfiniBand EDR/HDR、Fibre Channel、Optical module、SERDES、AOC、High-speed Interconnect

特長

- 高速デバイスのチャネル損失依存性検証をシンプルに再現性良く実現
- エンファシス制御によるチャネル損失や損失を補償した信号発生が可能
- エンファシスは20dB制御可能で、より長い(損失の大きい)チャネルをエミュレーション可能
- Sパラメータファイル読み込みでエンファシス設定値を自動計算





最大4タップのエンファシスによる
ターゲットEH/EWへの信号校正

S2P、S4Pファイルから挿入損失を
エミュレートまたはエンファシス補償

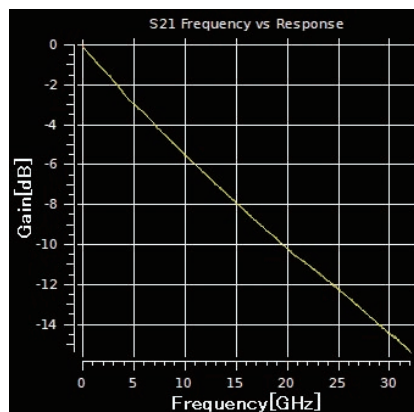
ナイキスト周波数の
損失設定によりISIをエミュレート

代表規格

MU196020A-040

Channel Emulator	Normal: Sパラメータから挿入損失をエミュレート Inverse: Sパラメータの挿入損失をDe-Emphasis補償 S-Parameter file: S2P, S4P
ISI	CEIのナイキスト周波数の損失設定によりISIをエミュレート出力する 応用部品 ISI Board J1800A/J1758Aとセットで損失制御可能

J1800A (Vコネクタ)



J1800A 代表性能



外観

オーダーリング・インフォメーション

ご契約にあたっては、形名・記号、品名、数量をご指定ください。
品名は、現品の表記と異なる場合がありますので、ご了承ください。詳細は、弊社営業担当までお問い合わせください。

形名・記号	品名	形名・記号	品名
MP1900A	シグナル クオリティ アナライザ-R	J1800A	ISI Board V
MU196020A	PAM4 PPG	J1758A	ISI Board
MU196020A-001	32 G baud		
MU196020A-002	58 G baud		
MU196020A-003	64 G baud		
MU196020A-011	4 Tap Emphasis		
MU196020A-030	Data Delay		
MU196020A-040	Adjustable ISI		
MU196020A-042	FEC Pattern Generation		
MU196020A-050	Inter-Module Synchronization		

MU196020A-040は、MU196020A-011が必須となります。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

アンリツ株式会社
https://www.anritsu.com

計測器営業本部 営業推進部
TEL: ☎ 0120-133-099/FAX: 046-296-1248
E-mail: SJPost@zy.anritsu.co.jp

MP1900A_ISI_PAM4PPG-J-A-2-(1.00) 2019.04 ddcn/CDT